

◎創世記32：1－32を振り返りましょう

I. 創世記33：1－11を読みましょう

1. ペヌエルでの出来事の後、ヤコブにどのような変化が見られますか（1～3節）
2. 兄エサウはどのような態度で、弟ヤコブを出迎えましたか（4節）
3. ヤコブは自分の家族についてどのように説明していますか。
4. エサウはどうしてヤコブの贈り物を受け取ろうとしなかったのですか。
5. エサウに贈り物を渡そうとするヤコブは何を強調していますか。

II. 創世記33：12－17を読みましょう

1. 「さあ、旅を続けて行こう。」という言葉に、エサウのどんな気持ちが表れていますか。
2. ヤコブはどうしてエサウの提案を断ったのですか。
3. エサウはセイルへ帰り、ヤコブはスコテに移って行った。それは何を表していますか。

III. 創世記33：18－20を読みましょう

1. ヤコブは故郷カナンの地にあるシェケムの町に着いて、どんな思いだったでしょうか。
2. ヤコブは「天幕を張った野の一画」を買って、どうしましたか。
3. 「エル・エロハ・イスラエル」とはどんな意味ですか。

◎一緒に考えてみましょう

- ①ペヌエルの後、ヤコブはどんな確信を得たのでしょうか。
- ②エサウに対するヤコブの言葉から、彼のどんな信仰がわかりますか。
- ③故郷に帰ってきたヤコブにはどんな誘惑があったと思いますか。

* 終わりに、今日の学びのタイトル（主題）を考えてみましょう

「

」